

## 今号の主な内容

### 【特集】平成23年度 ふれあい学習事業

田植え・稲刈りと生き物さがしの会	1
<b>ゆふいん元気!</b>	2
第16回 かわにし文化収穫祭	
<b>ゆふいん財団掲示板</b>	2
<b>ゆふいんtopic</b>	3
大分川河川環境学習会を振り返って・・・	
<b>ゆふいんtopic</b>	4
e-KAMISHIBAI (イーカミシバイ) 教室	

【発行日】2011年12月12日

【発行】公益財団法人人材育成ゆふいん財団

【発行人】溝口薫平

【編集責任者】霜野圭一

【編集】人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863

TEL/85-4748 FAX/85-4759

E-mail: info@yufuin-zaidan.jp

H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

### 【特集】平成23年度 ふれあい学習事業

## 田植え・稲刈りと生き物さがしの会/見聞録

平成23年度のふれあい学習事業では昨年度の「ゆふいん子どもガイド養成講座」に引き続き、田植えと生き物さがしの会(5月22日)、稲刈りと生き物さがしの会(9月11日)を開催しました。

日頃、通学やお散歩で目になっている田んぼ。田植えの時期や稲刈りが体験できる時期は、子どもたちにとって貴重な時間です。昨年に引き続き、太田正美さん、太田慎太郎さん(岳本)に指導・ご協力を受けながら実施しました。

#### 田植えと生き物さがしの会/5月22日

- 1 まずは、畑作業に挑戦! さつまいもの苗植えです。竹の道具の使い方を習いました。
- 2 自分たちの手で一本一本植えていきます。土の感触がとても気持ち良かったようです。
- 3 田植えのスタートです。水田に初めて入る子どもも多いようです。苗を手に持って、少し怖がりながら入っていきます。
- 4 水平をとりながら、並んで苗を植えていきます。水田の中での農作業にも慣れてきました。
- 5 「泥の感触が気持ちいい!!」という感想が多かったです。最後に水路で泥を流しました。



#### 稲刈りと生き物さがしの会/9月11日

- 1 秋になり、いよいよ稲刈り作業です。カマを使った作業があるので、しっかり注意事項の説明を聞きます。共同作業となるため、みんなで役割分担をしていきます。
- 2 カマでひと束ずつ丁寧に刈っていきます。途中でコンバインによる刈り取りも見学しました。機械での作業はとっても早いです。しかし、子ども達は負けずに一生懸命に刈って行きました。
- 3 稲を刈ったら、みんな総出で掛け干し作業を行いました。落ちてしまった米粒を見つめながら農作業の大変さを振り返りました。こうした農作業する農家の方に感謝して、食べる前には「いただきます」ということを最後に約束しました。



今年度のふれあい学習事業は、各種体験学習会や大分川河川環境学習会(P3を参照)、幼児向け環境劇、そして来年1月開催予定の「e-KAMISHIBAI」(P4を参照)など多くの学習の機会を実施することができました。また、こう

した活動のサポートとして、たくさんのボランティアの方々にご協力していただきました。ボランティアの方々に感謝を申し上げますとともに、ぜひ来年度もこうした機会を創り出し、提供していきたいと思ひます。

# ゆふいん元気！ 第16回 かわにし文化収穫祭 11月6日（日）

第16回かわにし文化収穫祭が川西農村健康交流センターで開催され、取材におうかがいしました。

屋外では、朝採れ野菜市やふれあい食市場、新米のつかみ取り、餅つき、竹製品の販売などのテントがたくさん並んでいました。川西小学校の子ども達によるバザーもあり、雨にも負けず大きな声で販売をしていました。6年生のみんなが校庭のイチヨウの木から採ったというギンナンはとても美味しかったです。野菜や竹製品など全てがとてもお手頃価格で販売されており驚きました。さずが秋の収穫祭！といったところでしょうか。

交流センター1階では、様々なクラブの方による芸能発表が行われ、訪れた時はちょうど大正琴の演奏中でした。ふれあい食市場で購入したジャンボいなりと、地域のお母さんグループお手製のだんご汁をいただきながら大正琴の音色を楽しみました。

交流センター2階では、竹かごづくり教室や陶芸教室、生け花教室の皆さんの作品が展示されていました。竹で編んだカゴは持ち手部分を可愛くアレンジしたものや、異なる素材を組み合わせているものなど、個性的な作品も多くありました。

雨にもかかわらず、多くの皆さんがステージ発表や展示、バザーなどを楽しんでいました。地域の人とのふれ合いがある、とても楽しいお祭りでした。

(記)ユクリエ 田尾 裕美



## INFORMATION

人材育成ゆふいん財団 掲示板

**「為朝伝説」の壁画の展示場所を公募します！** (絵本作家/あべ弘士さん・由布市の子どもたち作)



サイズ：1800mm×3600mm  
裏面ベニヤ板4枚を貼り合わせ  
(壁画枠/土台あり)

今年の6月4日（土）に湯布院公民館にて開催された、いにしえ・トークコンテスト「為朝伝説」。その発表会に先立ち3月25日佛山寺で開催されたイベント「あべ弘士さんと壁画をつくろう！」では、子どもと大人のべ100名が参加し、「為朝伝説」の壁画を製作しました。(財団ニュースVol.65参照)

代表作「旭山動物園日誌」「あらしのよるに」の絵本作家、

あべ弘士さんと子どもたち力作の壁画の展示場所を公募します。

来年1月31日まで、展示希望者を募り、子ども達の目にふれやすい場所などを選定していきたいと思ひます。設置についてはできる範囲でお手伝い致します。展示を希望される方は人材育成ゆふいん財団までお問い合わせ下さい。

**カチッ!** **検索** **ゆふいん財団**

今年度のふれあい学習事業では、大分川を舞台にして、川に触れ、親しみながら川遊びを楽しむことを目的に、大分川河川環境学習会を行いました。上・中・下流部の子どもたちが一緒になって、川遊びをしながら水中生物を観察しました。そして楽しく遊びながら自然環境を知り、私たちの身近な川である「大分川」について学びました。

9月と10月に2回の学習会を開催し、11月23日(水)にはその学習会を振り返る大分川・河川環境ワークショップ

を開催しました。まずは、大人スタッフで今年度の振り返りと反省、今後行いたい活動のアイデアを収集しました。

途中から学習会に参加してくれた子ども達も加わり、時間の都合で出来なかったプログラムを体験。その後来年度へ向けたアイデアを子どもの視点で評価してもらいました。その模様と学習会のアンケート調査の概要をご報告します。詳しい内容については、財団ホームページをご覧ください。

カチッ! 🔍 検索 ゆふいん財団



**1** 大人も子どもが混じり合いながら、「外来生物増殖ゲーム(環境省・くじゅう自然保護官事務所提供)」をしました。鬼ごっこに似たゲームで、どんどん外来生物が増えていき、それを肌で感じました。

**2** 水ソムリエでは、大分市、挾間町、庄内町、湯布院町など、全部で8ヶ所の水を飲みくらべ。一番多く、場所を当てた子どもは4ヶ所正解をしました。

**3** 今後行いたい活動アイデアを紹介し、子どもからの意見をもらいました。来年度に活かしたい貴重なご意見でした。

**4** 他にも廃油石けんづくりや今年度の振り返り、そして打ち上げをして楽しみ、とても充実した一日となりました。

### ◎今後行いたい活動のアイデア(大人の意見収集)と→子どもからの評価・反応

- 1.金鱗湖の生き物調査(投網、水温調査)、いかだで川くだり(問伐材利用)
- 2.河川清掃(ごみ拾い)、水中生物調査、黒岳登山(自然の雄大さ、森林と人間の関わりを知る。体力づくりとふれあい。)
- 3.外来種調査と水環境調査(釣り、外来種探し、シートや試薬の水質分析)
- 4.大分川に生息する淡水魚捕獲、湧水の水質調査(支流・本流をすべて調査)
- 5.大分川流域の地域資源活用、体験型の観光商品開発(エコキャンプ/水源巡り)
- 6.川流れ(人も川の流れて動いていき、流れも感じていく)、外来植物退治
- 7.川の水中生物観察会(アミ・釣り→調査→最後に食べる!)
- 8.ピクニック、カフェ(川・森・草原で、読書・自然観察・絵を描く・楽器をならす)

- スポットで水を取って、顕微鏡で見たい。
- 川下りなどは濡れるからあまりしたくない。川に流されるのは怖い。でも泳ぎたい。泳ぐなら、水がきれいでないとけない。
- 登山をしながらのごみ拾いは大変。
- 釣りは楽しそう。外来種を触ってみたい。
- エコキャンプは大賛成。大分川について調べて、福岡や東京などの人にも来てもらい、教えてあげたい。
- ◎魚を捕まえて食べたい。キャンプしたい。共同生活をしてみたい。自給自足。同年代の都会の人に、「のどかさ」の良さを伝えたい!!

### <河川環境学習会のアンケート調査結果概要>

参加者の構成

楽しかったことベスト3

他にやってみたいことベスト3

9月17日(土)・第1弾 「大分川の上流の金鱗湖と白滝川に行こう!」	子ども参加者数 31名 (男子20名、女子11名。 挾間地域11名、 庄内地域4名、 湯布院地域16名)	1.つかみどり 2.魚釣り 3.魚を調理して、食べたこと	1.川遊び(釣り、カヌー) 2.川で泳ぐ 3.水中生物の観察
10月15日(土)・第2弾 「大分川の上流の阿蘇野川と男池に行こう!」	子ども参加者数 7名 (男子5名、女子2名。 大分市1名、 湯布院地域6名)	1.水の飲みくらべ 2.男池、森の散策 3.お楽しみゲーム	1.川で泳ぐ 2.クリーン作戦 3.該当なし

iPad を使って留学生と英語を学び・遊ぶ教室、e-KAMISHIBAI (イーカミシバイ) 教室が湯布院にやって来ます。グローバル社会において、英語とIT は子どもたちにとって欠かせないものです。将来、世界に羽ばたく子どもたちを、地域社会と留学生が協働して支援していく活動として、大分県内を巡回しているe-KAMISHIBAI隊の皆さんが、湯布院教室を企画していただきました。

当日は、留学生と一緒にipadを使って、英語で絵本を読んだり、遊んだりして、楽しく英語を学んでいきたいと思えます。“英語が初めて”というお子さんも大歓迎です。みなさんの参加をお待ちしております(^-^)/

**【詳しい事業に関する問い合わせ先】**

e-KAMISHIBAI隊  
(Eメール info@e-kamishibai.com)  
ホームページ www.e-kamishibai.com  
(過去の活動写真も見られるよ♪)

※本事業は、平成23年度大分県「重点分野雇用創造プラン」  
e-KAMISHIBAIコミュニティ事業として開催します。

日 ち : 2012年1月14日 (土)	内 容 : 英語で自己紹介しよう	
時 間 : ①11:00 - 12:00 ②13:30 - 14:30 の2回	Google Earthで世界を見てみよう! e-KAMISHIBAIを読もう! iPadで遊ぼう!	
場 所 : 健康温泉館クアージュ交流室	申込期間 : 平成23年12月20日 (火) ~ 平成24年1月11日 (水)	
募集人数 : 40名 (①、②各20名の定員)	※定員になり次第締め切らせていただきます。	
対 象 : 小学生	申込方法 : 以下の申込書を人材育成ゆふいん財団事務局までFAX ・郵送か、メールでお送り下さい。もしくは、申込書の 内容を電話でお伝え下さい。受付を完了した方については折返しこちらからご連絡致します。	
(ただし、開催風景を撮影し、ホームページ等の情報発信に掲載させていただくことをご了解いただける方)		
参加費 : 無料		

**申し込み先** 公益財団法人 人材育成ゆふいん財団  
〒879-5102 由布市湯布院町川上2863 健康温泉館クアージュゆふいん内  
TEL : 0977-85-4748 (不在の場合、携帯電話に転送されます。)、FAX : 0977-85-4759  
E-mail : info@yufuin-zaidan.jp、H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp **カチッ!** **検索** **ゆふいん財団**

## < 申込書 >

◎希望時間  
希望する時間に✓をして下さい。  ①11:00 - 12:00  ②13:30 - 14:30

◎参加者	◎保護者 (緊急連絡先)
学校名 _____ 学年 _____ 氏名 _____	氏名 _____
学校名 _____ 学年 _____ 氏名 _____	電話番号 _____
学校名 _____ 学年 _____ 氏名 _____	住所 _____

※ご記入頂いた個人情報は、本イベントに関する利用のみと致します。  
※当日の開催風景を撮影し、ホームページに掲載させていただきますことをご了解下さい。

**編集後記**  
日本漢字能力検定協会が発表した2011年を表す漢字の1位は「絆」でした。確かにこの一年よく耳にして、目にした漢字でした。大震災を経て、あらためて「絆」の大切さを知っただけではなく、『「絆」を取り戻そう!』という社会全体の大きな気運を私は感じました。来年はそうした気運や大きな流れの中で、良い成果を残していきたいと思えます。  
(事務局・大澤直彦)

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



**みらい信用金庫**  
MIRAI  
URL <http://www.oitamirai.co.jp/>